

# DANRYU

暖流  
公益社団法人岡山青年会議所  
Since 1951

2021 Vol. 1

ポストコロナ時代の新たな街づくり  
いまさら聞けない、SDGsって何？  
「スイッチ!おかやま」とは  
コロナ禍で活躍する企業  
2021年度実施予定事業

2021年 テーマ

PLUS



Special Talk

ポストコロナ時代の新たな街づくり

小林佑輔 × 大森雅夫

公益社団法人 岡山青年会議所 第71代理事長

岡山市長

## Slogan Logo



### 【今年度のスローガンロゴ】

人類にとって戦後最大の脅威となった新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、国内経済にも深刻な打撃を与え、私たちの生活にも大きな影響を及ぼしています。誰も見たことのない未知の世界で期待と不安が入り混じる今こそ、戦後の経済復興を果たした青年会議所の創始の精神に立ち返り、若者らしい発想とプラス思考で当事者意識を持ち、能動的に行動し、一人ひとりが輝く「おかやま」を創造し、輝く運命を切り拓いて行こうという思いを込めさせていただきました。

また、郷土岡山の未来のために地域経済との連携を行い、経済活動を「プラス」に転換し、社会から共感を得る輝く組織へとアップデートし続けていかなければなりません。新たな時代に対して私たち岡山青年会議所のメンバーが先頭に立ち、行動を起こし「プラス」のスパイラルを生み出していく原動力となり、誰もが希望を持てる未来をロゴマークとして表現しています。



homepage address

<https://www.okjc.org>



facebook

<https://www.facebook.com/okjc.org>

岡山JCではホームページでも情報を発信しております。事業や運動のご報告など随時更新しております。お気軽にホームページをご覧ください。

岡山青年会議所

検索



発行日 令和3年1月  
発行 公益社団法人岡山青年会議所  
〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15 岡山商工会議所ビル6階  
TEL 086-223-0938 FAX 086-225-0500 email info@jci-okayama.com  
発行責任者 公益社団法人岡山青年会議所  
プラスワン創造委員会  
委員長: 笹山 勇二  
大塚 真弘・佐藤 一弥・眞殿 昌宏  
大田 武勇・坂本 雅樹・篠永 茂・松田 龍乃輔・池元 純一

次号は6月発行予定です。

## CONTENTS

Special Talk ポストコロナ時代の新たな街づくり 大森岡山市長と小林理事長の意見交換。	02
いまさら聞けない、SDGsって何？ JCがSDGsを推進する理由。 SDGs17の目標の中身を紹介。	04
「スイッチ!おかやま」とは いったい何なのか?…合言葉? 岡山JCも取り組んでいます。	06
コロナ禍で活躍する企業 みらい株式会社 つくし保育園紹介 有限会社ストロベリー紹介	08
2021年度実施予定事業 うらじゃ振興活動2021プロジェクト 桃太郎のまち岡山ブランディングプロジェクト	09



### 2021 Vol.1 表紙

#### 瀬戸大橋

穏やかな海と島々が織りなす瀬戸内海をまたぎ、本州と四国を結ぶ瀬戸大橋。吊橋、斜張橋、トラス橋など6つの橋梁からなりたっており、道路、鉄道併用橋（上部が自動車道路、下部に鉄道）としては、世界最大級の規模を誇っています。日中、陽光に輝く姿はもちろん、夕日を受けて浮かび上がる瀬戸大橋と夕空のコントラストがより美しさを引き立たせます。そして特定の日には日没から橋がライトアップされ、優雅でロマンチックな雰囲気を楽しむことができます。

# 暖流

公益社団法人岡山青年会議所  
Since 1951

## 2021年【暖流】発行にあたって

公益社団法人岡山青年会議所の広報誌「暖流」をご覧いただきありがとうございます。青年会議所「JC」は20歳から40歳までの青年経済人たちが、地域経済の活性化や地域の課題解決に取り組み「ひとづくり」や「まちづくり」をしている団体です。

JCは全国で697あり、岡山青年会議所は、全国でも9番目に早い1951年に設立されました。岡山青年会議所が脈々と受け継いできた「ひとづくり」の精神は、岡山のまちを担う品格あるリーダーの育成です。71年目を迎える今でも私たちの魂として心に宿り続けています。

青年会議所が目指す「まちづくり」とはまちの活性化のために一石を投げ、まちに誇りを感じる市民を一人でも多く増やすことです。第27回を迎えた「うらじゃ」もその一つです。2020年の開催は残念ながらでしたが、私たちは先輩諸兄がつくりあげてこられた「うらじゃ」の火種を絶やすことなく活動を続けています。

2021年の1月から私たち岡山青年会議所のメンバーは「SPIRAL OF PULS ～輝く運命を切り拓け!～」をスローガンに掲げ、若者らしい発想力で「あつと驚く」事業に挑戦します。大人から子どもまで多くの市民がまちの未来に夢を抱き、一人ひとりが輝く活気に満ち溢れた「おかやま」を創りだすために、本年度も青年らしいパワーと感性で様々な事業に取り組んでまいります。

2021年の岡山青年会議所、そして我々の事業に一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

公益社団法人岡山青年会議所 2021年度 第71代理事長

小林佑輔



公益社団法人 岡山青年会議所 理事長

岡山市長

## 小林佑輔 × 大森雅夫

### ポストコロナ時代の新たな街づくり

大森雅夫岡山市長に新型コロナウイルス感染拡大と街づくり、そして来年度以降の計画や岡山青年会議所に期待することなど、多岐にわたって意見を交わしました。

**小林佑輔(以下、小林)** まず2020年は新型コロナウイルス感染拡大による影響で、岡山市にとっても大きな影響があったと思います。市長は今回の新型コロナウイルス、またそれにまつわる様々な現象について振り返ってみて、感じられたことはございますか。

**大森雅夫(以下、大森)** 2020年は新型コロナウイルス感染症につきまずですね。春からゴールデンウィークにかけての、いわゆる第一波では岡山は東京などに比べて感染は少なかったのですが、日本全体がシユリンクしたような状態になってしまいました。

また7月末をピークとする第二波では岡山市でも第一波に比べて感染が拡大しました。そして11月以降の感染拡大局面では、年代的にも、感染源という面から見ても非常に多様化しています。

このような状況のなかで、検査体制の拡充など感染拡大防止に軸足を置きながら、社会経済活動を両立させるといいうことに尽力した一年でした。

**小林** 私たち岡山青年会議所もそうなのですが、年初計画をしていたことが、新型コロナウイルスの影響で中止や内容の変更を余儀なくされました。岡山市でもそうした事例は多々あると思うのですが、来年度以降の計画や予定はどのようにお考えなのでしょうか。

**大森** 私は当初から新型コロナウイルスに対して、「正しく恐れる」ということをずっと言っています。人間が活動する以上、ゼロリスクは無理なので、やはり正しく恐れて、対策をしながら、やるべきことはやっていくことが大切なのではないかと思っています。

例えば、成人式は屋外の岡山県陸上競技場を会場にして、密にならないよう二回に分けて開催することとしました。当初は成人式も中止

を縮小して開催いたしました。振り返るとウィズコロナを見据えた事業を考えた一年でしたし、来年度以降も考え続ける必要があります。

では来年度以降、ニューノーマルに対応した岡山市の展望や、大森市長が望まれていることがありましたら、お聞かせいただけますか。

**小林** それは楽しみですね。新型コロナウイルスの影響もあって、飲食店などは苦境に立たされています。県庁通りが変わることで、新しい流れが生まれるかもしれませんね。

**大森** 短期的に見て新型コロナウイルスがどのような影響を及ぼすのか、分からない部分もありますが、人はやはりフェイストゥフェイスの交流を望んでいます。岡山の街が変わること、人の動きや流れに新しいものができてきますよ。結果、そうした流れによって、飲食店や商店の活性化など相乗効果が表れてくると思います。また県庁通りが変わって、人が動いた先に魅力がないといけないということで、岡山芸術創造劇場が新しく完成します。舞台演劇や音楽の公演ができる大劇場をはじめ、市民会館との大きな違いとして、さまざまな市民活動に使える練習室やスタジオが用意されています。

**小林** そうした施設は市民が利用することができるとはいいですか？

**大森** そうです。大劇場のほかにスタジオが15室程度あります。そういった面で、今まで観る楽しみだけだったのが、参加したり、創ったりする楽しみ、喜びが生まれてきます。また、そこに集うという喜びも生まれてくるのではないのでしょうか。

**小林** 今は人と人がひざを突き合わせて、何かをするというところは難しいと思うのですが、県庁通りや岡山芸術創造劇場でまた新しい動きが出てくると良いですね。私たちが岡山青年会議所でもできる範囲で様々な事業に挑戦したいと思っています。では最後、岡山青年会議所に対して、また岡山の若者に対して期待されていることなどをお聞かせいただければと思います。

**大森** よく話をするのですが、今の若者はじめです。それは裏を返せば危機感のよくなるものを持ったまじめさがあるんじゃないかと思っています。そうしたことはSDGsなどの活動として表れてきています。一方、海外への留学などは10年前に比べて少なくなっているようなんです。そうした面だけを捉えると、昔と比べて冒険心がなくなっているのではないかと言われることもあります。しかし、見かたを変えてみると、地元で新しいものを創り出して街を変えていく力や、今持っている危機感を打破していくというような力を持っていると思いますので、ぜひ具体的に表してほしいですね。こうした若者には「不易流行」という言葉が相応しいのではないかと思います。本質的なものは大切に、変えるものは変えていくということで、どんなチャレンジしてもらえたらと思います。

**小林** 青年会議所でも、常に新しいことや時代に即した活動ができていくかなど、常に不易流行を意識しています。来年度も若者にしかできない挑戦をすることで、岡山にとってプラスの影響を与えることができればと考えています。

**大森** どうやって岡山の人々たちを驚かせるか。そういう視点でぜひチャレンジしていただきたいと思います。小林理事長さん、皆さんの腕力に期待しています。



小林佑輔

Yusuke Kobayashi

昭和56年3月に、姫路市に生まれる。平成15年、国立大学法人信州大学経済学部を卒業後、松下電工株式会社に入社。平成20年に小林電工株式会社に入社し、令和元年に専務取締役役に就任後、現在に至る。公益社団法人岡山青年会議所には平成23年1月に入会し、平成27年に総務委員会理事委員長、平成28年に専務理事、平成30年に交流室副理事長、令和元年に組織未来室副理事長、令和2年にひとつづくり室副理事長を歴任。

西川緑道公園では毎月BARをしたり、キャンドルナイトをしたりと、若い世代が様々な取り組みを縮小して開催いたしました。振り返るとウィズコロナを見据えた事業を考えた一年でしたし、来年度以降も考え続ける必要があります。

では来年度以降、ニューノーマルに対応した岡山市の展望や、大森市長が望まれていることがありましたら、お聞かせいただけますか。



大森雅夫

Masao Omori

昭和29年2月、岡山市に生まれる。昭和52年、東京大学法学部卒業後、建設省に入省。昭和60年熊本県企画開発部企画課長、平成6年建設省大臣秘書官事務取扱、15年内閣府大臣官房会計課長兼内閣官房内閣参事官、20年内閣府政策統括官(防災担当)、24年国土交通省国土政策局長などの要職を歴任し、25年に退職。同年10月に岡山市長に就任し、現在2期目。座右の銘は「信なくば立たず」「為政清明」。

を縮小して開催いたしました。振り返るとウィズコロナを見据えた事業を考えた一年でしたし、来年度以降も考え続ける必要があります。

では来年度以降、ニューノーマルに対応した岡山市の展望や、大森市長が望まれていることがありましたら、お聞かせいただけますか。

### 感染拡大を防止しながら、正しく恐れて街づくりを進めていく

べきではないかという議論があったのですが、新成人の方にとって一生に一度しかない機会となりますので、感染防止対策をしながら、できるだけ限り開催しようということになりました。こうした一つひとつの事例に対して、感染対策を考えたが、実行していくことが必要なのではないかと思っています。

**小林** 岡山青年会議所では2020年が70周年にあたる年で、創立70周年記念式典も規模

**大森** 新型コロナウイルス感染の拡大を防止することはもちろん、正しく恐れて社会経済活動をサポートするということに尽きます。今年度行った新型コロナウイルスに関する助成金や、消費喚起策等の事業者支援などは、必要に応じて来年度も行う必要があると思っています。

そんななかで来年度、ひとつ完成するのが県庁通りの一車線化ですね。歩道空間を広げることで街路の緑も増えますし、その下で憩えるようなベンチを置いたり、テラスで営業したりと、様々な展開をすることができそうです。

西川緑道公園では毎月BARをしたり、キャンドルナイトをしたりと、若い世代が様々な取り組みを縮小して開催いたしました。振り返るとウィズコロナを見据えた事業を考えた一年でしたし、来年度以降も考え続ける必要があります。

では来年度以降、ニューノーマルに対応した岡山市の展望や、大森市長が望まれていることがありましたら、お聞かせいただけますか。

西川緑道公園では毎月BARをしたり、キャンドルナイトをしたりと、若い世代が様々な取り組みを縮小して開催いたしました。振り返るとウィズコロナを見据えた事業を考えた一年でしたし、来年度以降も考え続ける必要があります。

では来年度以降、ニューノーマルに対応した岡山市の展望や、大森市長が望まれていることがありましたら、お聞かせいただけますか。

# いまさら聞けない、SDGsって何？

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。そもそもどう発音するかというと、SDGs(エス・ディー・ジーズ)です。時々エス・ディー・ジー・エスと読まれる方がいらっしゃるのですが、最後はGoals(ゴールズ)の略です。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGsの17の目標17の大きな目標の中身を少し見てみましょう。



1から6の目標を見ていると、貧困や飢餓、健康や教育、さらには安全な水など開発途上国に対する支援に見えます。しかし実際には、日本の子どもの6人から7人に1人が貧困だと言われていたり、ジェンダー平等に関しても2019年12月に世界経済フォーラムで発表された数字によると153カ国のうち120位と、とても低い数字になっていて、これらの目標は先進国である日本国内でも当てはまることだと言えます。



7から12の目標になると、エネルギーの話、働きがいや経済成長の話も出てくれば、まちづくりの話まで出てきます。これらはまさに先進国である日本も密接に関係する目標です。



13から17の目標になると、気候変動の話、海の話や陸の話まで出てくるので、開発途上国や先進国だけの話ではなく、もっと包括的な話になってきます。

SDGsが世界でこれだけの広がりを見せているのは、  
開発途上国だけではなく先進国も、  
働きがいや経済成長までも踏まえたものだからだと言えるでしょう。



# なぜJCがSDGsを推進するの？

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。わたしたちが青年会議所活動や、行う事業を通して、SDGsを推進し、できることから少しずつでも行動に移すことによって、地域、国、世界、地球が変わっていくからです。

## SDGs×JCI OKAYAMA ~岡山青年会議所のSGDsへの取り組みについて~

### 岡山にキリンが来る!公益社団法人岡山青年会議所 創立70周年記念事業「池田動物園 活性化プロジェクト」第一弾クラウドファンディング



1953年に開園した岡山市内唯一の動物園である池田動物園。しかし近年では、動物園の顔であるキリン・ゾウ・ライオンが相次いで亡くなったため来場者数が減少傾向にあり、その在り方が模索されています。地域に親しまれる動物園を取り戻すことで、活気あるおかやまへと繋げていきたい。公益社団法人岡山青年会議所は、池田動物園に来年4月(予定)、「キリン」を寄贈する事を決定いたしました。



### 岡山青年会議所70周年記念事業「自転車のまち おかやま推進プロジェクト」"ももちゃり寄贈式典"



創立70周年記念事業として「自転車のまち おかやま推進プロジェクト」を実施いたしました。その一環として岡山市のシェアサイクル「ももちゃり」の特別色「ももいろ」仕様30台を岡山市に寄贈する式典を執り行い、寄贈いたしました。



## 岡山青年会議所はSDGsに取り組んでいます

今、企業や団体の中で注目を浴びつつある「SDGs」ですが、持続可能な社会にしていけるためには皆で取り組む必要があります。岡山青年会議所ではSDGsについて様々な取り組みを進めております。昨今、全ての事業にて「SDGs」の取り組みを実施しております。





## 「スイッチ!おかやま」とは

「スイッチ!おかやま」は、思いやりの輪を広げる合言葉。  
岡山市民や事業者の方々に向けて、新型コロナウイルス感染予防のためのマナーや、新しい生活様式の実践に役立つ情報を発信していきます。コロナは、誰でもかかりうる感染症です。岡山で暮らす私たち一人ひとりの行動が、岡山の未来につながっています。だから今は、マナーをON。ゆるみをOFF。安心して暮らせる岡山へ、みんなでスイッチしよう。



手を洗おう



マスクをしよう



こまめに換気



密集をさけよう



密接をさけよう



密閉をさけよう



手指を消毒しよう



大声をひかえよう



誰かを傷つける行為はやめよう

感染した方を特定する動きや、ご本人への差別や偏見が報じられていますが、このようなことは断じてあってはならないことです。誰も、好き好んで感染症にかかる人はいません。人と人との対立や分断、感染した人を疎外するような雰囲気は、感染症の発見を遅らせ、対策の妨害となります。そうした差別や分断の心に、ウイルスは忍び込んできません。



※岡山市公式 新型コロナウイルス情報サイトより



## 岡山JCの取り組み

岡山青年会議所では、新型コロナウイルス感染防止のため多くの事業が縮小、中止を余儀なくされています。そんな中メンバーの意識向上や、顔を合わせてコミュニケーションを取ることができるよう、安全面に最大限配慮して例会を開催しています。入場前のマスク着用、手指消毒、検温チェック、ソーシャルディスタンスの確保など、感染対策を行うほか、セミナーなどの一部はリモート形式で行うなど、様々な知恵を出し合うことでニューノーマルな活動へスイッチしています。

配席を工夫



例会では対面にならないように  
スクール形式で机を配置

飛沫を防止



演者の前にアクリルパネルを設置して  
飛沫による感染を防止

オンライン会議を導入



密集を避けるためリモート形式の  
例会・セミナーを開催

感染対策を徹底



スタッフ・参加者の検温と  
マスク着用、手指消毒を実施

# Business Announcement

| 2021年度実施予定事業 |

## 桃太郎のまち岡山ブランディングプロジェクト



全国ではその地域の特徴や名産を活用し、まちのブランディングへとつなげております。

岡山でもマスカットやママカリ、桃太郎など特徴や名産にちなんだ命名や場所が存在しますが、他県と比べてもブランディングが弱い印象があります。

そこで、岡山の玄関口である桃太郎空港にその要素を取り入れ、大人から子供までたくさんの市民が岡山のまちの特徴を再認識し、また岡山を訪れた人には岡山のまちの特徴を知っていただける機会にもなり、まちのブランディングに繋げることが目的とし、より魅力あふれるおかやまにして参ります。

Project 02

※2021年度実施予定事業の内容等は変更となる場合がございます。  
※写真はイメージです。

## うらじゃ振興活動2021プロジェクト



岡山伝統の祭り「うらじゃ」は岡山市の祭りとしては最大級ですが、岡山県の人口を鑑みるとまだまだ増加する余地があります。

「うらじゃ」に関わる振興活動を通して、テーマの「共生と融和」を基に、産官学民が一体となり、まちをあげての画期的な振興活動を行い、おかやまに素晴らしい観光資源があることを示し、おかやまの未来に誇りを持ち、夢を抱く市民を一人でも増やすことを目的に行っていきます。

「うらじゃ」の輝きを高めていきますのでご期待ください。

Project 01

PLUS

## withコロナ コロナに負けない、コロナ禍で活躍する企業

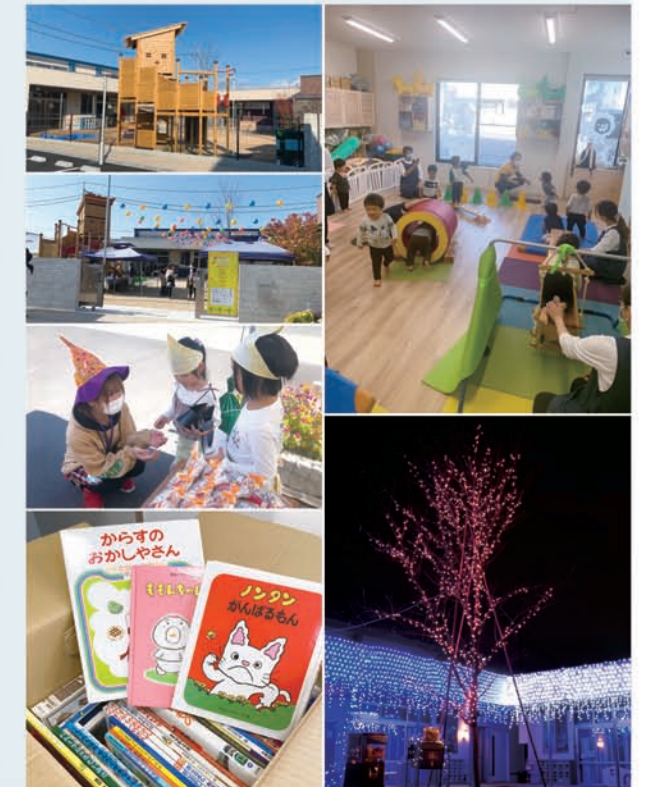
### 01 みらい株式会社 つくし保育園

つくし保育園は「未来のキミを育てる」の理念を基に保育をしています。今園では、ドイツ器具を使用したリーベ式運動遊びを取り入れ、体と心の発達を応援しています。万倍園では、北欧の環境遊具を設置し、生涯ケガをしにくく、豊かに生活するために必要な動きの基礎と知恵を遊びの中で獲得しています。

保育園全体として学校では教えてくれないお金の流れを取り入れたつくしマルシェを開催。お金をつくしメダルに置き換え、園児たちはお手伝いをしてつくしメダルを貯めていきます。その貯めたつくしメダルを使用し、つくしマルシェでお買い物。このつくしマルシェは毎年恒例で行い、園児たちは遊びを通してお金の流れを身に付けていきます。今年はコロナ禍の為、参加者を制限しましたが、コロナが落ち着いたら地域住民の方にも参加していただく予定です。

つくし保育園は保育園の枠を越えた交流とSDGsへの取り組みを積極的に行い、未来のキミに読んでほしい1冊を全国から募集し、想いと資源を循環させています。また、地域活性化と毎年12月のお楽しみとしてイルミネーション「みらいとつながるよる」を開催。通常なら、地域住民の方にも園庭を開放するのですが、コロナ禍の為、今年は外から見て楽しんでいただけるよう対策し、防犯も行っています。保育園に居る子どもたちは体づくりにりおいても重要な期間である為、手洗いうがいは行っていますが、コロナ禍でも重要なことと認識し、当たり前のよう生活の一部として取り組んでいます。

みらい株式会社 つくし保育園  
〒700-0955 岡山県岡山市南区万倍42-4  
TEL:086-236-6682 FAX:086-236-6683



### 02 有限会社ストロベリー

今年で15年目を迎える有限会社ストロベリー。岡山市中区平井で放課後等デイサービス「キッズハウスいちご」、生活介護施設「いちごプラス」と障がいがある未就学のこどもから成人の方までをトータル的にサポートしている多機能型福祉施設を運営。新型コロナウイルスの影響で小中高と学校が休みになり、ご利用の家族は子ども達の預ける場所に大変困っていました。

「キッズハウスいちご」は検温、消毒、マスク等、コロナ禍における対策は全て行っております。しかしスタッフの1人がコロナに感染してしまいました。それに伴い会社を一次休業し、会社、送迎車両の消毒を行い、スタッフ全員年内の自粛を決定しました。営業再開後もさらに、コロナ対策を徹底し、子ども達の受入先として場所確保。働くご家族や児童が安心してお仕事ができるようサポート。コロナ禍の中でも子ども達に安心して楽しく過ごしてもらえるように、この時だからできるレクリエーションを日々考えています。そして、福祉の現場で働く職員のケアも（給与）（特別休暇）事業所で取り組みを実施。ストロベリーは各イベントが中止になっている中、子ども達や地域の方に喜んでいただきたい思いで令和2年11月に「イチゴマルシェ」を開催。今後コロナ禍に対応した取り組みをしっかりと考え、「誰かのために」というテーマでこどもから大人、地域と共に進む、事業所をつくり続けている。見学ご案内等はご予約にて承ります。

有限会社ストロベリー  
〒703-8282 岡山市中区平井4-15-12  
TEL:086-276-8550 FAX:086-276-8567  
営業時間 9:00~18:00

